

日系の再生エネルギー利用後押し

SMFL、JCMを活用

三井住友ファイナン
ス&リース(SMFL
L)は、アジアで日系
企業の再生可能エネル
ギーの利用を後押しす
る。途上国の温暖化対
策を技術支援する二国
間クレジット制度(J
CM)を活用する。同
制度の補助金で顧客の
工場などに太陽光発電
システムを導入してい
く。タイを皮切りにイ

ンドネシアやベトナム
など、進出の多い東南
アジアを中心に提案し
ていく。
SMFLは、大手企
業が脱炭素の取り組み
を進める中、海外拠点
でも、使用する電力を
再生可能エネルギーに
置き換える流れが強ま
るとみる。同社がJCM
の補助金を取りまど
めるなどで顧客が制度
を利用しやすい、再
生可能エネルギーの利
用を促す。
インドネシアでは2
022年度中に受注す
る見通しだ。22年2月
中には、JCMを使っ
た同社初の太陽光発電
システムがタイで稼働
を開始する。LIXIL
向けで、バンコク近
郊にあるアルミニウム
建材工場の屋根に5ガ



ワの発電設備を設置し
た。発電した電力の全
排出量の半分を日本政
府が獲得する。

SMFLが
関わったL
IXILの
タイ工場向
け発電設備
▲排出量
を拠点内
で消費する
という。

JCMは
設備費用の
一部を国が
補助し、事
業によって
削減した二
酸化炭素
(CO2)